

# 世界史 授業 No.3 テーマQ.&A.プリント

## 1. 今日のテーマ・クエスチョン

最古の法典とは何か？ またその内容とはどのようなものか？

## 2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 14～15）の中から見つけよう！

メソポタミア南部には紀元前2700年ころまでに（ 1 ）（民族系統不明）が（ 2 ）・ウルクなど数多くの都市国家をたて、農業や交易で富を集めるとともに、たがいに争いをくりかえすようになった。周囲を城壁でかこんだそれらの都市国家には、都市の神を祀る壮大な神殿や王宮がつくられ、王を中心に神官・役人・戦士が政治や経済・軍事の実権をにぎって人々を支配する階級社会がうまれた。

前24世紀ころ、セム語系の（ 3 ）がメソポタミアからシリアにかけての都市国家を征服し、一時広大な領域国家をつくった。その後同じセム語系の（ 4 ）によりバビロン第1王朝（古バビロニア王国）がたてられ、前18世紀ころ、（ 5 ）王のときに全メソポタミアを支配した。王は運河や交易路の整備をすすめるとともに、それまでの法慣習を集成して法典を定めた。この（5）法典は「目には目を、歯には歯を」の（ 6 ）の原則にたち、身分秩序を重んじるオリент世界に大きな影響をあたえた。

### <記入欄>

- 1 ( ) 2 ( ) 3 ( )  
4 ( ) 5 ( ) 6 ( )

## 3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「最古の法典とは何か？ またその内容とはどのようなものか？」

T. A.

紀元前18世紀頃、[① ]王国（[② ]<都の名前>第一王朝）の6代国王[③ ]が、シュメール人が発明した[④ ]文字を用いて[③]法典を作った。これは神権政治の下で他民族の民を治めるために「神が授けた」とされている。刑法は[⑤ ]法の原則で「目には目を歯には歯を」で知られているが、一般人と奴隷の間に身分の差が大きかったことが分かる。

### <記入欄>

- ① [ ] ② [ ] ③ [ ]  
④ [ ] ⑤ [ ]

[ ]年 [ ]H No. [ ] 氏名 [ ]